防災情報を重ねあわせて閲覧（例1）

	0.5m未満
	0.5～1.0m
	1.0～2.0m

浸水想定区域　⚠ 道路冠水想定箇所

洪水による浸水想定区域＋道路冠水想定箇所

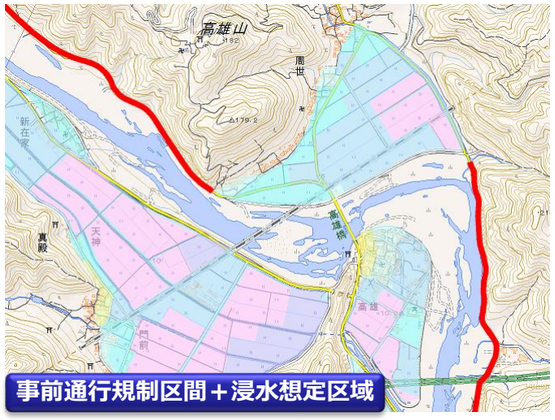
◯の箇所は、大雨の際に道路冠水のおそれがあるため、浸水想定区域から避難する場合のルートの検討において、注意が必要です。

防災情報を重ねあわせて閲覧（例2）

事前通行規制区間

	0.5m未満		2.0～3.0m
	0.5～1.0m		3.0～4.0m
	1.0～2.0m		4.0～5.0m
			5.0m以上

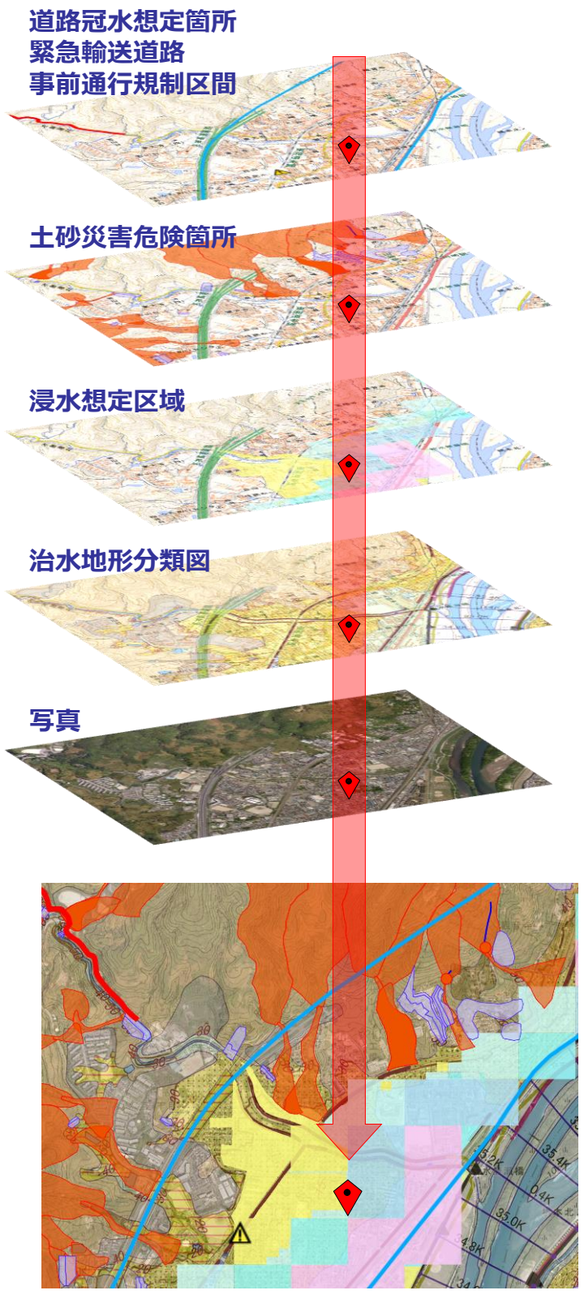
浸水想定区域



事前通行規制区間＋浸水想定区域

避難ルートを検討する際には、浸水想定区域の把握だけでなく、避難ルート上の道路の通行可否も確認する必要があります。

ある地点の様々な防災情報を閲覧（例3）

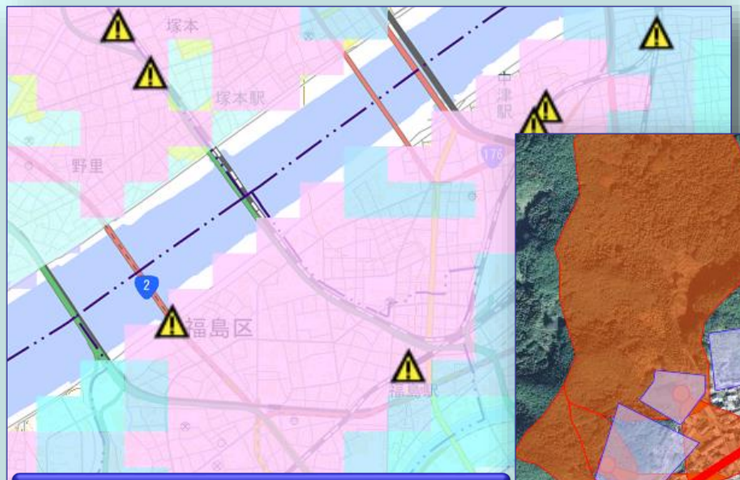


自分の住んでいる場所等、特定地点 ◆ の様々な災害に関する情報を閲覧し、その場所がどのような災害に対するリスクが高いのか把握できます。

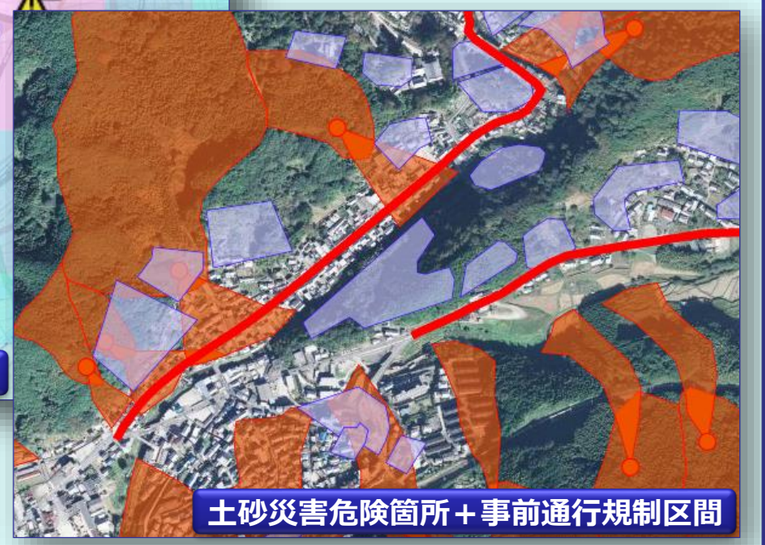
国土交通省ハザードマップポータルサイト事務局　http://disaportal.gsi.go.jp/
国土交通省国土地理院応用地理部　〒305-0811　茨城県つくば市北郷１番
TEL 029-864-1111（代表）

国土交通省ハザードマップポータルサイト

様々な防災情報を重ねて閲覧できます



浸水想定区域＋道路冠水想定箇所



土砂災害危険箇所＋事前通行規制区間

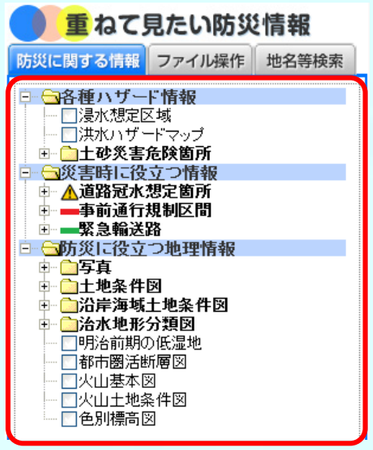
国土交通省ハザードマップポータルサイト
http://disaportal.gsi.go.jp/

ハザードマップ　検索

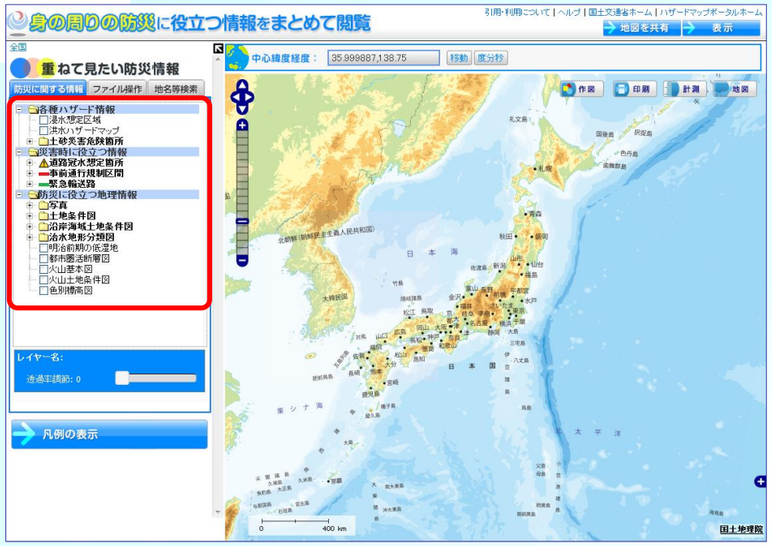
国土交通省ハザードマップポータルサイト ～防災に役立つ情報を一元的に閲覧～

http://disaportal.gsi.go.jp/

防災に役立つ情報
閲覧は
ここをクリック



重ねて見たい情報を選択



このサイトで閲覧できる防災情報とその活用方法

浸水想定区域図

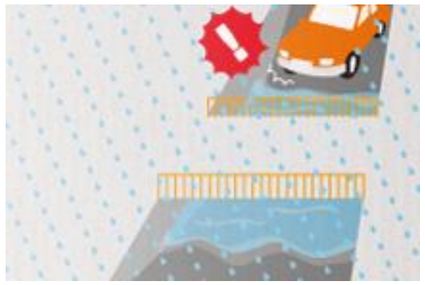
河川氾濫により浸水が想定される区域と浸水深が全国シームレスに閲覧可能。氾濫時に想定される状況を事前に知ることができ、水害による被害の軽減を図ることができます。

洪水ハザードマップ

地方公共団体が整備した洪水ハザードマップがシームレスに閲覧可能。出水時の水防活動や避難行動等に活用することができます。

道路冠水想定箇所

アンダーパスなど、大雨の際に冠水し、車両が水没するなどの重大な事故が起きる可能性がある箇所。大雨時の通行にあたっては十分注意するところ、冠水している場合には不用意に通行しないところと認識することで安全を確保することができます。



事前通行規制区間

大雨などで土砂崩れや落石の恐れのある箇所について、規制の基準を定めて、災害が発生する前に通行止めなどの規制を実施する区間。通行止めなどが行われる箇所を避けた避難ルートを検討することができます。

緊急輸送道路

災害直後から、救難・救助・物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な道路。災害が発生した際には交通規制が想定されるため、通行に注意が必要です。

過去から現在までの空中写真、明治前期の低湿地や都市圏活断層図など防災に役立つ各種地理空間情報も表示可能